



長久手アートプロジェクト 2009
「生命の樹／アートによるまちづくり」

土屋公雄

昨今、アートによるまちづくりは全国各地で行なわれ、時代の潮流ともなってきた。この事実は、まちづくりを実践している地域が、その地域の歴史や生活から生まれた社会的文化遺産を、地域振興に活かそうとする側面と、市場経済が成熟し、社会に蔓延した大量生産・大量消費・大量廃棄のシステムが曲がり角に差し掛かり、これまでの機能・効率が優先される社会から、より人間的で文化的側面へと移行する表れでもあろう。アートとは本来、人間の精神や生活に潤いと安らぎを与えるものであり、人の心の奥を元気にするものである。さらにアートには、人と人との繋ぎ、生きることの喜びや創造への可能性を導く力がある。このことからもアートを媒体とした地域活性化プロジェクトは各地で展開し、地域の個性を魅力あるものにしながら、新たなるコミュニティのあり方を模索・創造する活動として活発化しているのだろう。

そもそも長久手には、アートによるまちづくりを実現できるだけの多様な下地がある。長久手町文化の家や歴史的文化資産はいうまでもなく、長久手周辺には数多くの大学施設が点在し、まさに未来を担う若者が多く集まっているエリアであり、当然のことながらその中の愛知県立芸術大学は、プロフェッショナルな音楽家やアーティストを育成している専門大学である。

2006年よりスタートした「ながくてアートフェスティバル」は、愛知芸大職員と地元作家が自主的に委員会を立ち上げ企画した、地域参加型のアートプロジェクトである。参加者は大学の教員・学生をはじめ、長久手に在住する美術家たちで、日ごろの表現活動を町内の公園や個人宅、田畠や空き地と、思い思いの場所に展開したのである。イベントの実施・運営にあたっても、出品者はもとより地元の業者や地域ボランティアによる手作りであり、それまでアートに無縁だった住民が、イベントに参加し協働することで、アートの持つ活力や楽しさを味わい、さらに地域コミュニティの輪を広げ深めることとなった。

今回、ながくてエコハウス敷地内に設置したパブリックアート「生命の樹」も、アートによるまちづくりの一環として捉えられよう。もちろん、今やパブリックアートは公共空間に設置される芸術作品とし、地域にアートの彩を加えながら、独自なまちづくりをする上では欠かせないツールである。またその作品の果たすべき社会的役割も多様となり、作品はその作品の置かれる場所の構造と照応しながら、場所の持つ記憶や文化的文脈の引用を重視し、さらには環境問題といった今日的思想も反映するものとなってきた。この度完成した「生命の樹」も、限りある資源の有効利用をモットーとするエコハウスの意向と相関し、「生命の循環と再生」を作品コンセプトの中心に置き、生々流転の象徴としてある「生命の樹」のもとにはあらゆる命が集い、また誕生し成長して行くことをメッセージとした作品である。作品の根元に植えられた花々は今後、愛知芸大生と地元子供たちとのワークショップにおいて、植え替えられて行く構想もあり、パブリックアートが決して一過性のものではなく、設置後も地域住民のコミュニケーションの媒体となることを願っている。

さらに今回のアートプロジェクトで特筆すべきは、この活動が長久手町と愛知芸大・土屋公雄研究室の連携による、官学共同のプロジェクトとして行なわれたことである。従って、研究室サイドはあくまでも授業の一環とし、プロジェクトの立ち上げからプレゼンテーション、コーディネーション、制作・設置まで、学生が主体となり行なった。今や大学教育も、従来のような教室・アトリエ中心の座学授業形態から、実践・参加型の学習機会が重視され、学生には「現場に学ぶ」の視点から、より生きた知恵や技術を学ばせることが、総合的人間力を養成する為の不可欠要素なのである。

また地域に開かれたコミュニティの意識からも、大学側は垣根を低くし地域社会との交流を深める必要があり、大学から地域へ、地域から大学への情報交換を促進し、行政の取り組みにおいても、大学研究機関や学生をもっと活用すべき様思う。大学と地域の交流が深まることは、研究室や学生の専門知識を生かした地域創造プログラムやワークショップ・ボランティア活動等、様々な視点での地域コミュニケーションの発展や、公共空間デザインの可能性を探るものとなり、必ずや今後のまちづくり計画、地域活性化事業に繋がることと信じている。

アートによるまちづくりとは、自らが住む地域と、その歴史・文化・環境に対し、誇りの持てる場所とすることである。

末筆となりましたが、今回のパブリックアート「生命の樹」実現に際し、多大の協力をいただいた長久手町環境課並びになんでも町政サロン室の皆様、そして作品制作に関し、大変ご苦労をおかけした多数関係者の皆様には、心より感謝いたします。